

2018年2月16日

## 大分市内の一部の駅が「Smart Support Station」に変わります

2018年3月17日（土）から、大分市内の一部の駅を「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」として、新しい駅サービスを開始します。

### 1 「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」の概要

「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」を導入する駅には、カメラやインターホンを設置し、始発列車から最終列車までの間を「サポートセンター」のオペレーターがカメラを通じてお客さまの安全を見守り、インターホンを通じてお客さまへのご案内等を行います。

また、機器の故障時や介助の必要なお客さまの列車への乗降のお手伝い等、必要に応じてサポートスタッフを派遣し駅でご対応いたします。

#### <主な駅設備>

監視カメラ、インターホン、自動券売機、IC改札機、係員対応精算機、列車接近放送装置  
※駅によって設備は異なります。

### 2 導入予定日と導入駅

導入予定日	線区名及び駅名	サポートセンター
2018年3月17日	日豊本線 牧駅	大分駅構内
	日豊本線 幸崎駅	
	豊肥本線 滝尾駅	

### 3 その他

- 大分大学前駅、敷戸駅については、内方線付点状ブロックの整備工事後に「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」を導入します。導入時期については、2018年秋頃を予定しています。詳細はあらためてお知らせします。
- 大分市内のその他5駅（高城駅、鶴崎駅、大在駅、坂ノ市駅、中判田駅）についても、導入駅の状況及びバリアフリー化工事等の進捗を踏まえ、「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」の導入を引続き検討してまいります。
- 「Smart Support Station（スマートサポートステーション）」を導入する駅においては、駅係員が常駐するのではなく、サポートスタッフが1日1回以上、巡回及び清掃等を行います。
- JR九州管内においては、香椎線、筑豊本線に続き3例目です。